

## 2026年(令和8年)4月オホーツク管内倒産集計

令和8年5月1日

**株式会社 東亜リサーチ**

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

### 2 か月ぶりの発生ゼロ

#### 前月(3月)の発生ラッシュから一転

■前月比	件数	5件減少(令和8年 3月	5件)
	負債総額	41,603万円減少( "	41,603万円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	2件減少(令和7年 4月	2件)
	負債総額	22,646万円減少( "	22,646万円)

#### 2026年(令和8年)4月の発生状況

2026年4月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生がなかった。前月(3月)は一気に破綻が表面化して計5件の倒産発生が見られたが、一転して静かな年度初めを迎えた格好だ。

過去5か年における4月の倒産発生は21年3件、22年0件、23年1件、24年2件、25年2件で平均発生件数は1.6件。同負債総額は2億1,835万円。

### 過去5年間と今年1～4月の発生推移

過去5年間の1～4月の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は4.4件。同負債総額は4億9,362万円となっている。

今年は3月に5件の破綻が相次いで発生したがその他の月は発生ゼロであり、負債額は過去5か年の平均を下回っている。

過去5年間と今年1～4月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2021年	6件	3億3,700万円
2022年	0件	0円
2023年	4件	3億2,000万円
2024年	6件	8億9,820万円
2025年	6件	9億1,289万円
2026年	5件	4億1,603万円

### 今後の見通しと問題点

昨年は各種物価高騰・高止まりや深刻な人手不足などの要因が中小事業者の経営を圧迫し、個人の消費マインド低下にも拍車をかけた。今年は新政権発足により物価の安定をはじめとする様々な政策実現への期待が高まっていたが、中東情勢の緊迫化による原油価格高騰や建設資材不足など様々な影響が多方面に波及し、再び物価上昇の流れが加速するなど頭の痛い状況が続く。また、中小事業者にとっては長期金利上昇の兆候がジワジワと資金繰りに影響を及ぼすとの懸念も指摘されている。

オホーツク管内は長らく小康状態を保っていた状況から一変し、3月には企業破綻の表面化が相次ぐなど懸念していた事態が一気に明るみとなった。4月は2か月ぶりに倒産発生が見られなかったものの、中東情勢の悪化さらにはその長期化で中小事業者における収益圧迫の要因が加速度的に増し、今なお続く人手不足や自治体の財政問題なども経営逼迫に追い打ちをかけている様相だ。新型コロナ終焉から数年が経過し、事業の健全化に向けて鋭意取り組みを進めている事業者も多いが、最近の情勢から今しばらく正念場が続くものとみられる。

